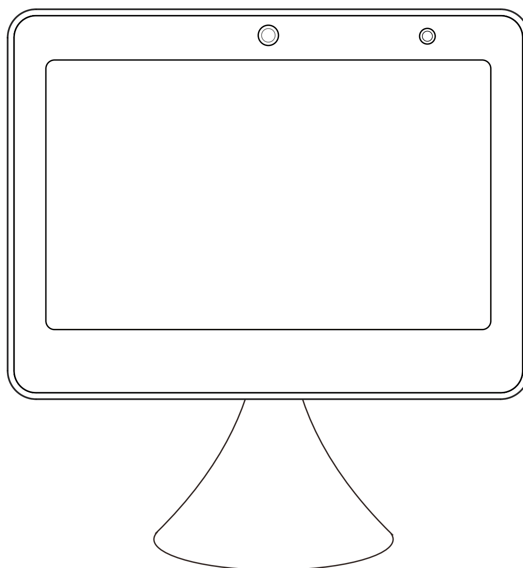
ASKA

DIGITAL PHOTO FRAME

EYE-POPPER

取扱説明書





ASKA

目次

1 安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。


警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

■ 煙が出たり変な臭いがするときなどは、電源を切り電源プラグを抜く
飛鳥サポートセンターに修理を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■ 落としたり、壊れたときなどは、電源を切り、電源プラグを抜く
飛鳥サポートセンターに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■ 内部に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く
飛鳥サポートセンターに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■ 電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く
飛鳥サポートセンターに修理を依頼してください。芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。

■ 不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■ 指定の電源電圧以外で使用しない
火災や感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけない
火災や感電の原因となります。次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、熱器具に近づける。

■ 内部に物を入れない
メモリーカードの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災や感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。

■ 内部の部品に触らない
メモリーカードの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
感電や故障の原因となります。

■ 本体やACアダプタの分解や改造はしない
火災や感電の原因となります。お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。内部の点検・整備・修理は飛鳥サポートセンターに依頼してください。

■ ぬらさない
火災や感電の原因となります。風呂場では使用しないでください。雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■ 雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない
感電の原因となります。

■ 電源プラグが不完全な接続状態で使用しない
接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。最後までしっかりと接続してください。

■ **電源プラグにほこりや金属物を付着させない**
ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■ **上に乗らない**
倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

■ **ACアダプタを指定の電源電圧以外で使用しない**
火災や感電の原因になります。

■ **ACアダプタは本機以外の機器に使用しない**
性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
本機専用のものかを確認し、ACアダプタの説明書もよくお読みください。

■ **高温の場所に置かない**
発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注意

■ **電源プラグはコードの部分を持って抜かない**
コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となることがあります。

■ **次のような場所には置かない**
・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や
・湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
・火災や感電の原因となることがあります。また、本機が故障する原因となります。

★データ損失に関わるご注意
本製品をご使用になり、発生したデータの損失等の損害に関しまして、原因や理由に関わらず当社では一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

■ **上に重い物を置かない**
バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機が故障する原因となります。

■ **本体に衝撃を与えない**
けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

■ **コード類は正しく配置する**
ACアダプタの電源コードやUSBケーブルなどは、手足にひっかけると製品の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分注意して接続、配置してください。

■ **長期間使用しないときは電源プラグを抜く**
電源を切っていても、ACアダプタには電気が流れていますので、安全のため、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。

■ **お手入れをするときは電源プラグを抜く　また、薬品に注意する**
電源を切っていても、ACアダプタには電流が流れていて感電の原因となることがありますので、電源プラグは抜いてください。また、お手入れ等の際に、シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので使用しないでください。

■ **移動するときは電源プラグやUSBケーブルをはずす**
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。また、本機が故障する原因となります。

■ **強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない**
故障の原因となることがあります。テレビの上や近くでは使用しないでください。
ACアダプタを使用しているときは、できるだけ本機から遠ざけてご使用ください。

■ **飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う**
本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えることがあります。

2 本製品と付属品の規制事項・免責事項等について

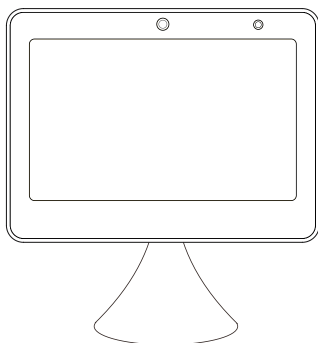
本機を安全にお使いいただくための注意事項などのご案内です。

●本製品にはメモリが内蔵されています。静電気、電気的ノイズ、磁気などの影響を受けるなど、記録されているデータが損なわれることがあります。また、本製品をお使いの際には、必ず本書「取扱説明書（ユーザーズマニュアル）」などをお読みの上、正しくお使い下さい。
●本製品をご使用になる前には、必ず動作確認を行い、まず本製品が正常に機能することをあらかじめご確認下さい。また、本製品やメモリーカード内のデータは必要に応じてお客様の責任のもとで他のメディアにバックアップして下さい。
●本製品やデジタルカメラ、メディア、パソコンなどの故障、不具合、誤使用などでデータが破損または消去された場合や、修理や点検の際に、内蔵メモリに記録されたデータなどが消去された場合など、その原因に関わらず弊社は一切責任を負いません。また、データの保証およびそれらに伴った損害の補償は一切できません。大切なデータはお客様の責任のもとで普段からこまめにバックアップして下さい。
●本製品は、デジタルカメラ、パソコン、TVなど、家庭や一般的なオフィスの機器でのみご使用下さい。本製品をこれら機器以外の用途で使用したことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。本製品を、特別に高い品質・信頼性が要求され、その故障や誤作動が直接人命を脅かしたり人体に危害を及ぼす恐れのある機器（原子力制御機器、航空宇宙機器、輸送機器、交通信号機器、幹線通信機器、燃焼制御、医療機器、各種安全装置など）には、絶対に使用しないで下さい。
●CFカード、SDカード、xDピクチャーカード、メモリースティック、他メモリーカード類に記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは完全に消去されません。完全に消去を行う場合は、専門業者に依頼（有料）、または市販のソフトウェア（有料）などを利用して下さい。
●本製品にビジネスデータなどの重要なデータを記録した場合は、コンピュータウイルスの感染、紛失・盗難などのないよう厳重に管理して下さい。
●本製品をビジネスなどに活用される場合は、本体ならびに本体内のデータは、紛失・盗難などに備え、厳重に管理して下さい。本製品を譲渡・廃棄する場合は、保存したビジネスデータなどを完全に消去することをお勧めします。データ消去について詳しくは、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)の「ストレージ上のデータ消去に関するガイドライン」をご覧下さい。
●本製品の内蔵メモリに関する容量表示は一般の表示(物理容量)に基づいており、実際にご使用いただける容量ではありません。容量の一部を管理領域として使用しているため、ご使用いただける容量(ユーザ領域)は実際のメモリ容量とは異なります。また、あらかじめシステムファイルやデモ用・サンプル用などのファイルで容量を使用しています。(メモリ容量は1MBを1,048,576バイトとして計算しています。)
●仕様および取扱説明書（ユーザーズマニュアル）に記載された条件であっても、本製品での動作を必ずしも保証するものではありません。
●乾電池による駆動時間は、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。また、使用条件の範囲内でも低温の環境で使うと連続再生時間は短くなります。
●すべてのメディアおよびデータの動作保証をするものではありません。
●環境条件に示している温度範囲湿度範囲は、性能を保証するものではありません。
●読み出し、書き込み速度は使用する機器、ファイルサイズなどの条件によって異なります。
●一部の古いメモリーカードは、正常に動作しない場合があります。
●TFTカラー液晶ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られております。非点灯、常時点灯するドット（点）表示が存在することがありますが故障ではありません。あらかじめご了承下さい。
●お客様が記録した写真、画像、音楽、動画およびプログラムなどを権利者に無断で使用すると、著作権・肖像権の侵害となる場合がありますので、ご注意下さい。
●お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。他人にファイルをコピーしたり、メールで渡したり、インターネット上で公開することは著作権法違反となり、損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用する場合には、著作権法を遵守の上、正しくご使用下さい。
●本製品付属品のACアダプタは100～240Vまで対応しておりますので海外でもご使用いただける仕様ですが、国内仕様のため国内での使用のみ動作を保証しております。
●本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承下さい。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられたり、本製品を没収されることがありますが、弊社としては一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
●本製品を航空機に持ち込む場合は手荷物として機内に持ち込んで下さい。空港での荷物扱いによっては大きな衝撃を受け、本体が破損したり、データが壊れることがあります。
●航空法により離発着時の本製品（精密機器）の使用は禁止されています。また、その他病院などでも本製品（精密機器）の使用が禁止される場合がございます。その際は係員などの指示に従ってご使用下さい。指示に従わない結果罰せられることもありますが、弊社としては一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
●ヘッドホンおよびイヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自動車や自転車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどには絶対にお使いにならないでください。また、音量をあげすぎての使用は耳を痛める原因になることがありますので、適度な音量でお楽しみください。
●万一、本製品（付属品を含む）の故障や不具合および誤使用によって、データの記録や他の機器への転送が正常に行えなかったり、データの破損や消失が発生した場合、そのことから発生した損害および付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することで得られたであろう利益の喪失など）は、補償致しかねますのでご了承下さい。また、破損および消失したデータの保証については一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
●デザイン、仕様などは改良のため、予告なしに変更する場合があります。
●本製品は画面表示を日本語と英語に切り換える機能を有していますが、日本国内でのサポートについては日本語にのみ対応しております。(We support Japanese only.)
●CompactFlash は、米国SanDisk社の商標です。
●SD、miniSD、microSDはSDアソシエーションの商標です。
●SDロゴは商標です。
●メモリースティックは、ソニー株式会社の商標です。
●メモリースティックロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標として使用している場合があります。
●カタログに記載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

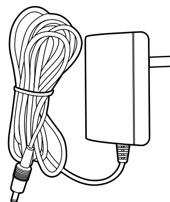
3 パッケージ内容

パッケージには、次のものが同梱されています。
箱を開けたら、これらが全て揃っているか、確認してください。

デジタルフォトフレーム本体　1台



ACアダプタ　1個
(100V～240V対応)



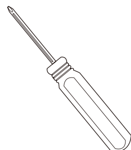
専用リモコン　1個



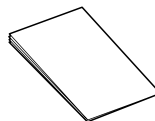
リモコン用ボタン電池　1個



ドライバー　1本



取扱説明書(本書)、兼 保証書　1冊



欠品や破損があった場合は、飛鳥サポートセンターまでご連絡ください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録は、ホームページで受け付けております。
下記のアドレスにアクセスし、表示される指示に従ってオンライン登録を行ってください。
http://www.aska-japan.net/support/usersupport.htm

4 仕様概要

デジタルフォトフレームの主な仕様です。

液晶パネルサイズ	7.0型
寸法	約　幅180×高さ182×奥行97mm　スタンドを含む 約　幅180×高さ135×奥行31mm　スタンドを除く
重量	約640g (ACアダプターを除く)、約375g (スタンド・ACアダプターを除く)
内蔵メモリー容量	約900MB (ユーザー使用可能容量 約872MB)
使用環境	温度10～40℃ / 湿度40～80%RH 結露がないこと
電源	ACアダプター(付属)、または単3形充電式ニッケル水素電池 3本(別売)
動作電圧	5V DC (ACアダプター使用時) / 3.6V DC (ニッケル水素電池使用時)
消費電力	約8.2W (最大)、約5.9W (最小)
対応メディア	SD/SDHCメモリーカード、コンパクトフラッシュ メモリースティック、メモリースティックデュオ、xDピクチャーカード microSD/SDHCカード、USBメモリ
ACアダプター	入力：100～240V 50～60Hz 0.8A　出力：5V 3A
再生対応	画像※1 JPEG、BMP、GIF、PNG、RAW 音楽　MP3(.mp3)、AAC(.m4a　.aac) 動画　MPEG-4 Simple Profile Level 0～3(.mp4) 最大解像度720×480

※1　縦×横が30,000ピクセル以上のプログレッシブJPEG、BMP、GIF、PNGは再生できません。
※　RAW画像は一部機種のみ再生が可能です。RAW再生対応機種は下記のほか、最新情報を飛鳥製品ホームページでご案内しております。
※　その他、相性や細かな仕様の違いにより、上記ファイル形式であっても再生や認識ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

【RAW表示対応機種】

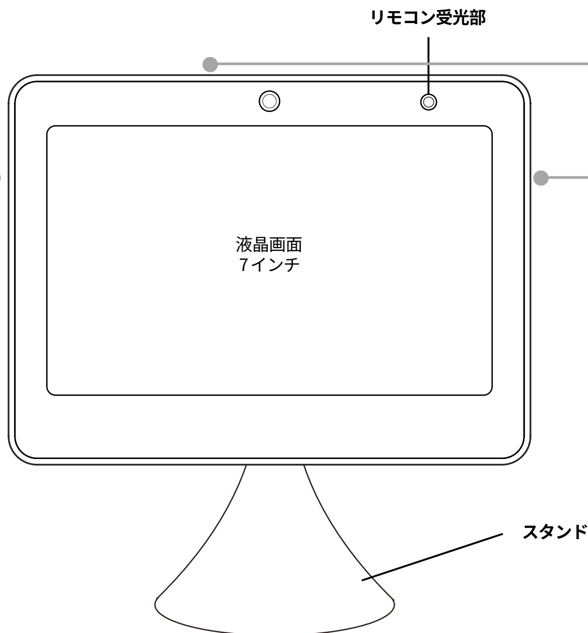
メーカー(ファイル形式)	型式名
Nikon (.NEF)	D1、D1H、D2H、D2Hs、D2X、D2Xs、D3、D40、D50、D60、D70、D70s、D80、D90、D100、D200、D300
Canon (.CR2 .CRW)	EOS 1D、1D Mark Ⅱ、1D Mark Ⅲ、1Ds、1Ds Mark Ⅱ、1Ds Mark Ⅲ、5D、10D、20D、30D、40D、D30、D60、Kiss Digital、Kiss Digital N、Kiss Digital X PowerShot G2、G3、G5、G6、G9、Pro 1、S40、S50、S60、S70
SONY (.ARW)	α100、α200、α300、α350、α700
FUJIFILM (.RAF)※2	FinePix S2Pro、S3Pro、S5Pro、F700、F710

※　上記機種でも、20MB以上のRAWは再生できないことがあります。
※2　FUJIFILMのRAWデータの再生は簡易再生になります。

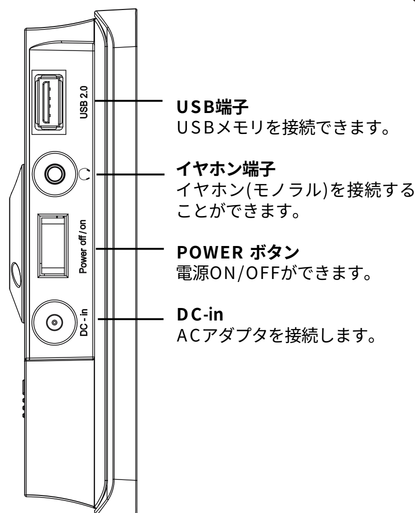
5 各部の名称

デジタルフォトフレームの各部の名称と機能は下記の通りです。

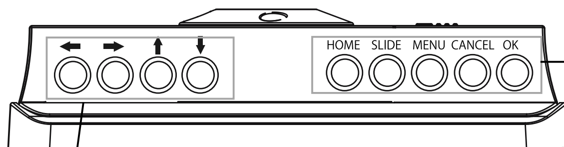
本体前面



本体左側



本体上面(操作パネル)



方向ボタン
選択中の項目を上下左右に移動させます。
また、動画・音声の再生中は上下ボタンで音量(ボリューム)を調節します。

HOME
ホーム画面(初期画面)を表示します。

SLIDE
スライドショーを開始します。スライドショーの実行中は表示モードを切り替えます。

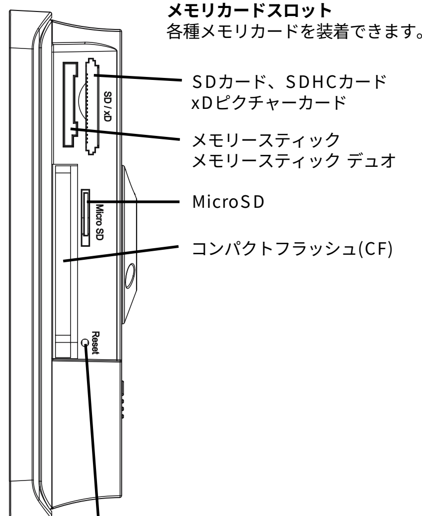
MENU
各機能画面でのメニューを表示します。

CANCEL
実行中の動作を中断したり、ひとつ前の画面に戻ります。

OK
選択した機能を決定したり、画面対話に「OK」します。

※各ボタンは機能によっては異なる動作をします。詳しくは各機能のページにて解説していますので、参照してください。

本体右側



メモリカードスロット
各種メモリカードを装着できます。

SDカード、SDHCカード
xDピクチャーカード

メモリースティック
メモリースティック デュオ

MicroSD

コンパクトフラッシュ(CF)

リセットボタン
本体の動作をリセットして再起動します。(内蔵メモリやメモリカードの内容は消去しません)クリップや針のようなものでボタンを押してください。

Point

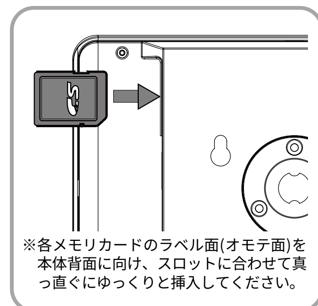
・メモリカードの脱着時はカードの向きに注意してください。向きを間違って装着するとカードやスロットを破損する場合があります。
・メモリカードの脱着の際、指などをはさまないようにご注意ください。

※各メモリカードのラベル面(オモテ面)を本体背面に向け、スロットに合わせて真っ直ぐにゆっくりと挿入してください。はずす場合は、SD、xDピクチャー、メモリースティックはメモリカードを持ってゆっくりと引き出してください。MicroSDは一度押すとスロットから少し出ますので指でつまんで引き出します。CFはイジェクトボタンを押すとカードが少し出ますので指でつまんで引き出します。

本体後側

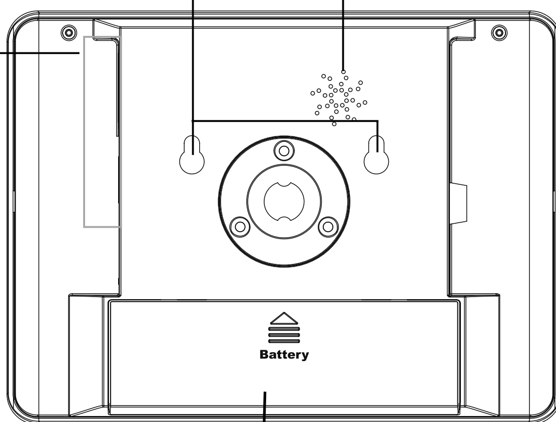
※スタンドをはずした状態

メモリカードスロット
各種メモリカードは、カードのラベル面(オモテ面)が本体後側から見える向きでセットしてください。



※各メモリカードのラベル面(オモテ面)を本体背面に向け、スロットに合わせて真っ直ぐにゆっくりと挿入してください。

壁掛け用穴　スピーカー

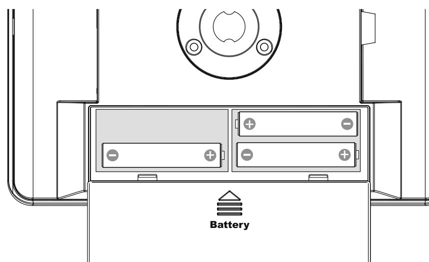


バッテリーボックス(単三乾電池×3本)
単三乾電池、3本を本体背面のバッテリースロットにセットすることで、デジタルフォトフレームを乾電池で一時的に使用することができます。画像や音楽、映像など、ファイルのコピーや削除を行う場合はデータの破損を防ぐために、乾電池ではなくACアダプターを接続の上、使用してください。

Point

デジタルフォトフレームを乾電池で使用する

1.本機背面のバッテリーカバーを軽く押しながら、下にスライドさせます。
2.バッテリーカバーをはずします。
3.乾電池3本を図のようにセットします。
4.バッテリーカバーを下から上にスライドさせながら装着します。



・乾電池を使用する際は、充電式ニッケル水素電池をお使いください。
・単三乾電池以外は接続しないで下さい。
・本機やバッテリーが濡れた状態で脱着を行わないで下さい。
・濡れた手で脱着を行わないで下さい。

リモコン

CLOCK
時刻表示か、時刻表示付きのスライドショーを表示します。6パターンから選択できます。

SLIDE
スライドショーを表示します。スライドショー表示中に押すとモード切替ができます。

ON/OFF
デジタルフォトフレームの電源をON/OFFします。

ROTATE
画像を一枚表示中に、画像を90度回転(時計回り)して表示させることができます。(※実際の画像は回転して保存はしません)

HOME
ホーム画面(初期画面)を表示します。

OK
選択した機能を決定したり、画面対話に「OK」します。

方向ボタン
選択中の項目を上下左右に移動させます。また、動画・音声の再生中は上下ボタンで音量(ボリューム)を調節します。

MENU
各機能画面でのメニューを表示します。

CANCEL
実行中の動作を中断したり、ひとつ前の画面に戻ります。

PHOTO
選択中のメモリカード内の画像ファイルを一覧でサムネイル(縮小画像)表示します。

MOVIE
選択中のメモリカード内の動画ファイルを一覧でサムネイル表示します。

MUSIC
選択中のメモリカード内の音声・楽曲ファイルを一覧でアイコン表示します。

DELETE
ファイルを削除します。

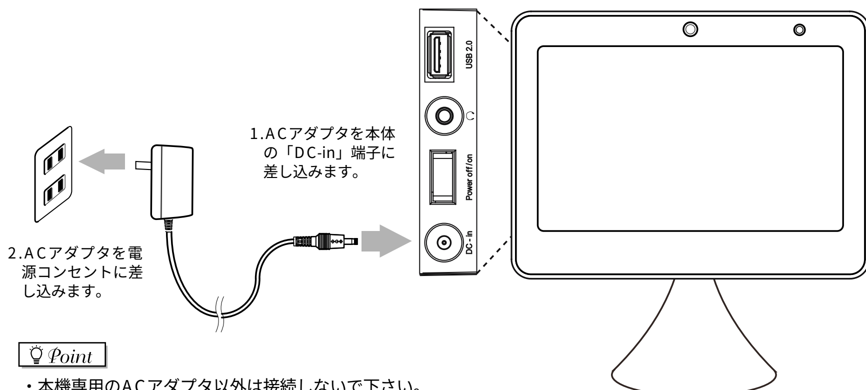
MUTE
ミュート(音量なし・消音)のON/OFFを切り替えます。

COPY
ファイルをコピーします。

※各ボタンは機能によっては異なる動作をします。詳しくは各機能のページにて解説していますので、参照してください。

6 ACアダプタを接続する

製品に同梱されている専用のACアダプタを、デジタルフォトフレーム本体右側の「DC-in」端子に接続します。
接続したら、ACアダプタを電源コンセントに差し込みます。



Point

- 本機専用のACアダプタ以外は接続しないで下さい。
- 本機やACアダプタが濡れた状態で取付を行わないで下さい。
- 濡れた手で取付を行わないで下さい。

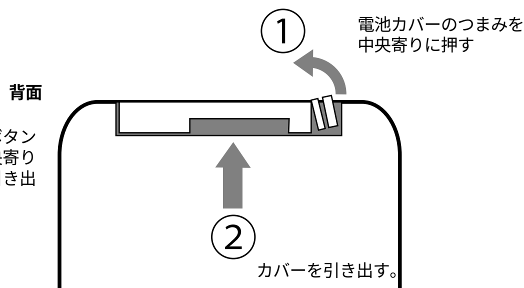
7 リモコンに電池を装着する

本製品に付属するリモコン用ボタン電池(CR2025)をリモコンにセットします。

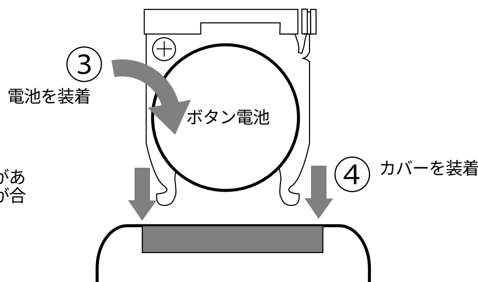


電池カバー

リモコンの背面下にあるボタン電池カバーのつまみを中央寄りに押しながら、カバーを引き出します。



ボタン電池を装着し、元のようにカバーを入れます。



Point

- 電池の向きにご注意ください。「+」「-」があります。電池カバーと電池の周囲の凹凸が合う向きにセットしてください。

8 デジタルフォトフレームの設置

デジタルフォトフレームは「スタンド」と「壁掛け」の設置方法があります。

スタンドで使用する

デジタルフォトフレームには標準でスタンドが装備されていて、平面上に立てて使用することができます。
また、その場合、液晶画面は縦位置または横位置に設定することができます。

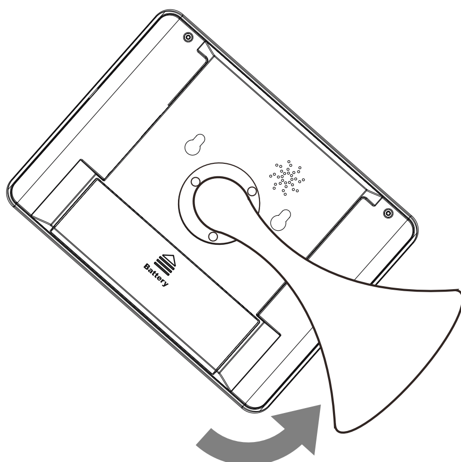
液晶画面の横位置
横位置(横長)の写真を画面いっぱいに表示することができます。



液晶画面の縦位置
縦位置(縦長)の写真を画面いっぱいに表示することができます。



液晶画面の端を持ち、本体背面から見て、スタンドを横位置からゆっくり右へ90度回転させることで縦位置に変更できます。



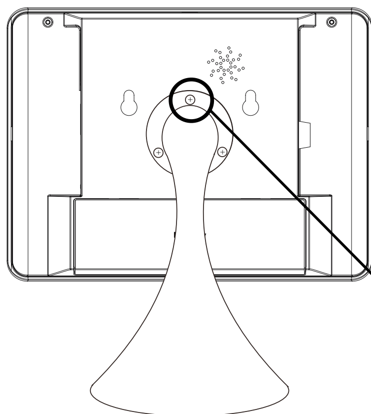
Point

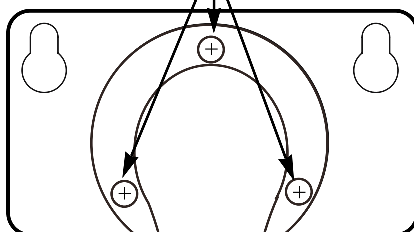
・写真の縦位置と横位置は、画像データのEXIF情報に記載されている場合のみ、自動判別して表示できます。画像データに縦横の位置記載情報がない場合は、自動で縦・横の判別はできません。
・メニューや操作画面は横位置用です。縦位置画面用の操作画面にはなりません。

壁掛けで使用する

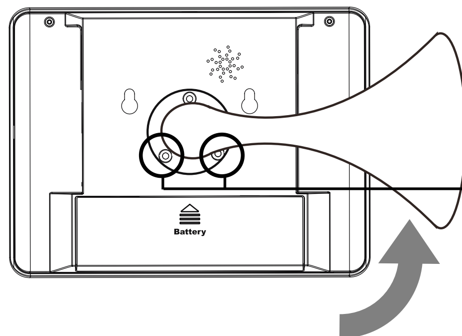
スタンドを取り外すと、壁に掛けて設置できます。

本体背面のスタンドをとめているネジ(3カ所)を付属のドライバーで取り外します。

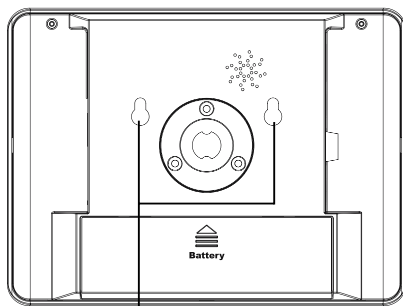




スタンドをたてた状態で上のネジをはずします。



スタンドを９０度回転させると、下2つのネジをはずすことができます。



壁掛け用穴

スタンドが本体からはずれます。

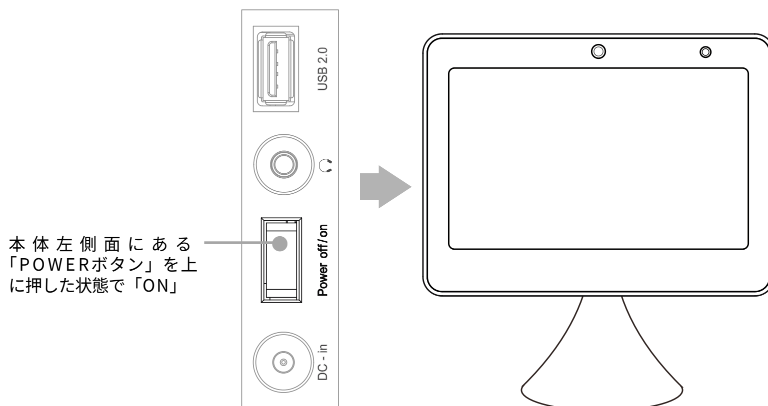
市販のタッピングネジ(木ネジ)や釘などを使い、本体背面の壁掛け用穴を利用して、横向きに掛けます。

Point

- ドライバーが製品に同梱されていますのでご使用ください。
- ネジのヤマを潰さないようにご注意ください。(ネジは左周りで回すとはずせます)
- 壁にタッピングネジを設置する際はしっかりと固定し、本体が落下しないようにご注意ください(落下による破損は保証対象外となります)。

9 デジタルフォトフレームの電源を入れる

本体左側面にある「POWERボタン」を上に押した状態にすると電源が入ります。
電源が入ると、数秒後にASKAのロゴマークが画面表示され、起動中となります。
起動時間は数十秒かかりますので少しお待ちください。



はじめて電源を入れたときは

お買い上げ後にはじめて本機の電源を入れたときは、画面にASKAのロゴマークが表示された後、自動的に本機内のタイマー(時計)の日付と時刻を合わせる作業になります。

1.「年」の数値が四角く囲まれていれば、年を変更可能な状態です。
リモコンまたは本体上部の上下キー(▽か△)を押して「年」の数値を変更します。「△」(上)で数値が増え、「▽」(下)で数値が減ります)。
右キーを押すと次の欄(月)の設定に移動します。



年を合わせます



2.「月」と「日」の数値を同様に設定します。「右」キーで次の項目、「左」キーで前の項目の設定ができます。

月と日を合わせます



Point

・作業の途中で「OK」ボタンを押すと、その時点で設定した日付/時刻で設定完了となります。
・現在の日付と時刻の変更は後でも操作できます。
・本機内のタイマーが実際の日付や時刻と異なったまま使用すると、画像ファイルのコピー等に伴う記録時間が正しく表示されなかったり、アラームなどの機能に支障が出る場合があります。

3.「時刻」を同様に設定します。「時」「分」を設定したら、「OK」ボタンを押して作業は完了です。



4.ホーム画面が表示され、設定した時刻が表示されます。



Point

- 作業の途中で「OK」ボタンを押すと、その時点で設定した日付/時刻で設定完了となります。
- 現在の日付と時刻の変更は後でも操作できます。
- ACアダプタに接続せずにしばらく放置した場合や、長時間のバッテリー切れ状態が続くと、本機のタイマー(時計)が初期状態に戻ります。その場合、デジタルフォトフレームの電源を入れたときに再度、日時/時刻の設定が必要になります。

10 電源のON/OFF

リモコンの電源ボタン(ON/OFFボタン)を押すと電源をON/OFFできます。
主電源を切るには、本体側面の「POWERボタン」を下に押した状態にします。
主電源がOFFの状態ではリモコンによる電源ON/OFFはできません。

電源のON/OFF

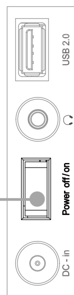


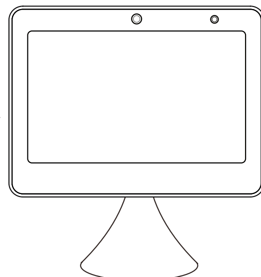
ON/OFFボタンを押します

Point

コピーや削除作業を行っているときに電源を切らないでください。初期画面(HOME)が表示されている状態で電源をOFFしてください。

主電源のOFF





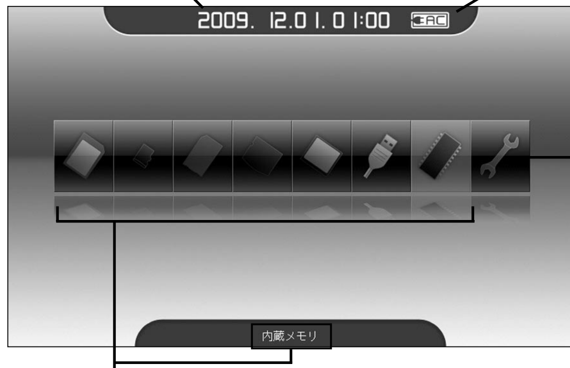
本体左側面にある「POWERボタン」を下に押した状態で、主電源が「OFF」

11 ホーム画面

ホーム画面は各種メモリカードのアイコンと、各種設定アイコンが並んだデザインになっています。メモリカードが本体にセットされていて、アクセス可能なものは、アイコンがアクティブ(明るく)表示されています。
閲覧したいメモリカード、または「設定」に合わせて「OK」ボタンを押します。

現在時刻を表示
本体内蔵の時計を時刻変更する場合は「設定」で行います。

電源表示
ACアダプタで電源接続しているときはこのアイコンが表示されます。乾電池で動作している場合はバッテリー残量のアイコンが表示されます。



設定

設定では次の項目の設定が可能です。
- 液晶の明るさ
- スライドショーの設定
- 音の設定
- 自動電源OFF
- 画像表示方法
- 内蔵メモリ管理
- メモリカード管理
- 言語の設定
- 画像コピー設定
- 時計・カレンダー設定
- 日時設定
- アラーム設定
- 初期設定
- 製品情報

※操作方法は「21.各種設定」で解説しています。

メモリカードの選択

左からSDカード、microSD、メモリースティック(MS)、xDピクチャー、コンパクトフラッシュ(CF)、USBメモリ、本体内蔵メモリ

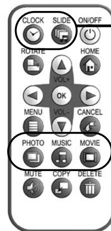
※本体に装着しているメモリカードと内蔵メモリのみ選択できます。本体に装着されていない、または認識できないメモリカードはアイコンが薄く表示され、選択できません。
※本書では便宜上、本体「内蔵メモリ」もメモリカードの一種類として表現しています。ご留意ください。

メモリカードを選択して、メモリに保存したファイルを一覧表示することができます。



本体の操作パネルまたはリモコンの「右」「左」ボタンで反転したアイコンを移動し、「OK」ボタンで決定します。

また、リモコンの下記の各ボタンが有効です。

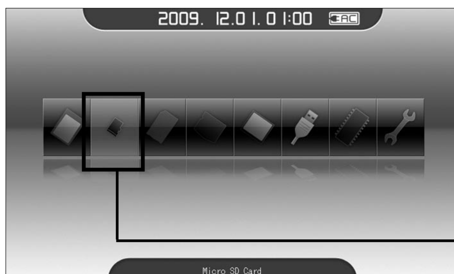


「CLOCK」　時計またはカレンダー表示します。
「SLIDE」　スライドショー再生をします。

「PHOTO」　写真を一覧表示します。
「MUSIC」　音声を一覧表示します。
「MOVIE」　動画を一覧表示します。

12 スライドショー

スライドショーは、写真(画像)を順次、自動で画面表示する機能です。
サムネイル一覧表示の順番で表示する形式とランダム順で表示する形式が用意されています。
また、写真の切り替え時にブラインド風、ページめくり風などの切り替え効果を加えること
もできます。更にスライドショー実行中に、楽曲(BGM)も再生することができます。
再生する写真や楽曲は選択中のメモリカード内に保存されているファイルが対象となります。
ホーム画面やサムネイル表示画面等で「SLIDE」ボタンを押すと実行します。



ホーム画面などでメモリカードまたは内蔵メモリを選択し、「SLIDE」ボタンを押します。



例えば、microSDの写真でスライドショーしたい場合、「microSD」を選択して「SLIDE」ボタンを押します。



スライドショーがはじまります。初期設定では5秒ごとに次の写真に表示が変わります。

BGMのON/OFFは「設定」画面で指定できます。BGMがONのとき、選択中のメモリカード内に保存されている楽曲(音声)ファイルを自動的に順次BGM再生します。(写真と楽曲をそれぞれ別のメモリカードから読むことはできません。コピー機能などを使用し、再生したい写真と楽曲は同じメモリカードに保存してください)



次の写真を表示するまでの時間を変更したり、表示する際のエフェクト効果を選択することができます(「MENU」や「設定」画面にて)。

Point

・スライドショー、時計・カレンダー表示は、ほとんどの画面で「SLIDE」「CLOCK」ボタンを押すことで実行できます。

■スライドショーの切り替え効果

スライドショーで次の写真を表示する際、4種類のモード(切り替え効果)から選択することができます。



ブラインド切替効果の例

1.なし(初期設定)
特殊効果なしに画像を切り替え表示します。

2.ページ
ページめくりのような特殊効果で画像を切り替え表示します。

3.顔認識
画像内に顔を認識した場合、通常表示の後に顔をクローズアップ表示して、画像を切り替えます。複数人の顔を認識したら、ひとりずつ顔のクローズアップを表示してから次の画像に切り替わります(3秒ごと)。

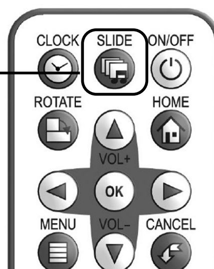
※「顔認識」を選択した場合、スライドショー設定で指定した切替時間は無効となり、時間は「3秒」に固定されてスライドショー再生されます。

4.ブラインド
ブラインドの特殊効果で画像を切り替え表示します。



選択した特殊効果は画面の右上に表示されます。

スライドショー再生中、「SLIDE」ボタンを押すたびに写真の切り替え効果をモード変更することができます。

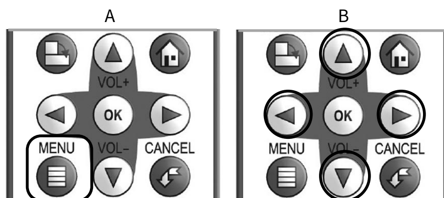


■スライドショーの設定画面

スライドショー再生中に操作パネルかリモコンの「MENU」ボタン(右図A)を押すと、スライドショー設定画面が表示します。この画面でスライドショー再生に関する各種設定を変更することができます。

設定は「右」「左」キーで選択を変更、「上」「下」キーで項目の変更ができます(右図B)。
「OK」ボタンで設定を保存して設定操作を完了します。
「CANCEL」ボタンで設定変更をキャンセルします。

A　B





切替時間
スライドショーで表示する写真の切替時間を設定します(写真の切り替え「効果」に「顔認識」を選択した場合、設定した時間は無効となり、切替時間は「3秒」に固定されてスライドショー再生されます)。

効果
写真の切り替え時のエフェクト効果を選択できます。
※エフェクト効果の詳細は次項「写真の切り替え効果」を参照してください。また、スライドショー再生中に「SLIDE」ボタンを押しても切り替えることができます。

画像ランダム
OFFのとき、写真はサムネイル表示と同じ順番でスライドショー再生されます。ONのとき、写真の順番はランダムに再生されます。

BGM
BGMのON/OFFを切り替えます。

BGMランダム
OFFのとき、BGMは「MUSIC」のサムネイル一覧表示と同じ順番で楽曲が再生されます。ONのとき、楽曲の順番はランダムになります。

■スライドショー実行中のボタン操作

スライドショー実行中はリモコンまたは本体操作パネルの下記のボタンが有効です。



「MUTE」 BGMを消音します。

音量の調整

「上」 音量を上げます。
「下」 音量を下げます。



「上」「下」ボタンを押したとき一時的に音量レベルを表示します。

写真のスキップ/戻し

「右」 次の写真を表示します。
「左」 ひとつ前の写真を表示します。

スライドショーの一時停止

「OK」 スライドショーを一時停止します。
再度押すと再生を再開します。

スライドショーの設定の変更

「SLIDE」ボタンを押すたびに写真の切り替え効果を変更します。
「MENU」スライドショー設定画面を表示し、各種の設定変更ができます。

スライドショーの終了/キャンセル

「CANCEL」サムネイル一覧画面を表示します。
「HOME」 ホーム画面を表示します。
「CLOCK」 時計またはカレンダー表示します。
「PHOTO」 写真を一覧表示します。
「MUSIC」 音声を一覧表示します。
「MOVIE」 動画を一覧表示します。

■スライドショーのBGM

スライドショー再生中にBGM再生が可能です。
BGMのON/OFFは「設定」または、スライドショー実行中に「MENU」ボタンを押して表示するスライドショー設定画面で行います。



BGM
BGMのON/OFFを切り替えます。

BGMランダム
OFFのとき、BGMは「MUSIC」のサムネイル一覧表示と同じ順番で楽曲が再生されます。ONのとき、楽曲の順番はランダムになります。

BGMは選択中のメモリカードに保存されている楽曲ファイルを順次再生します。
BGM再生中に方向ボタン「上」「下」で音量を調節できます(前頁参照)。

13 時計・カレンダー表示

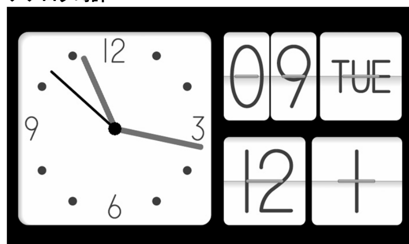


「CLOCK」ボタンを押すと、時計・カレンダーを表示できます。更に「CLOCK」ボタンを押すごとに写真付き時計、写真付きカレンダー、時計、カレンダー表示と、表示モードが切り替わります。

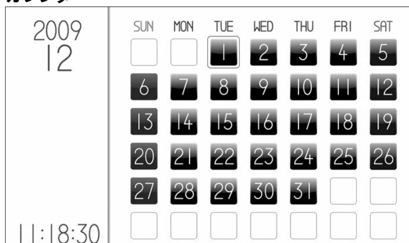
デジタル時計



アナログ時計

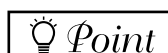


カレンダー



画像付きデジタル時計





- 画像付き(画像表示ON)の場合は、画像をスライドショー表示します。
- BGMとして選択中のメモリカードに保存した楽曲を再生することができます。
- BGMの音量は「上」「下」ボタンで変更できます。
- 「MENU」ボタンで、時計・カレンダー表示の設定画面を表示することができます。

■時計・カレンダー表示の設定画面

時計・カレンダー表示中に、「MENU」ボタンを押すと「時計・カレンダー表示の設定画面」を表示します。この画面で時計・カレンダー表示に関する各種設定を変更することができます。設定は「右」「左」キーで選択を変更、「上」「下」キーで項目の変更ができます。「OK」ボタンで設定を保存して設定操作を完了します。「CANCEL」ボタンで設定変更をキャンセルします。



時計・カレンダー
デジタル時計、アナログ時計、カレンダーから表示したいものを選択します。

画像表示
画像表示ONで「画像付きの時計またはカレンダー表示」になります。画像は切替効果なしのスライドショー表示になります。画像表示OFFで時計またはカレンダーのみの表示となります。

画像ランダム
OFFのとき、写真はサムネイル表示と同じ順番でスライドショー再生されます。ONのとき、写真の順番はランダムに再生されます。

切替時間
スライドショーで表示する写真の切替時間を設定します。

BGM
BGMのON/OFFを切り替えます。

BGMランダム
OFFのとき、BGMは「MUSIC」のサムネイル一覧表示と同じ順番で楽曲が再生されます。ONのとき、楽曲の順番はランダムになります。

14 メモリカード内のファイルを見る

メモリカードごとに、保存されたファイルを一覧表示したり、写真をフル画面に表示したり、楽曲や動画の再生を行うことができます。また、メモリカード間でファイルをコピーしたり、削除することもできます。



ホーム画面で、「右」「左」ボタンを押して閲覧したいメモリカードを選択します。「OK」を押すと「ファイル種別選択」画面を表示します。

Point
- 本体にセットしていないメモリカードは選択できません。
- リモコンの「PHOTO」「MUSIC」「MOVIE」ボタンを押すと、次の「ファイル種別選択」画面をスキップし、選択したメモリカード内のそれぞれのファイルをサムネイル(縮小画像)で一覧表示できます。



「ファイル種別選択」では閲覧したいファイルの種類、または「時計/カレンダー表示」を選択できます。

時計/カレンダー表示
時計/カレンダー表示します。

動画を見る(MOVIE)
メモリカード内の動画ファイルをサムネイルで一覧表示します。

写真を見る(PHOTO)
メモリカード内の写真(画像ファイル)をサムネイル(縮小画像)で一覧表示します。

音声/楽曲を聞く(MUSIC)
メモリカード内の楽曲/音声ファイルをアイコンとファイル名で一覧表示します。



リモコンまたは操作パネルの「右」「左」ボタンを押して、表示したい内容を選択して「OK」ボタンを押します。

Point

再生できる××がありません

選択したメモリカード内にデジタルフォトフレームが再生できるファイルが保存されていない場合、「再生できる動画がありません」等のように画面表示します。

デジタルフォトフレームに対応したファイルがあるかどうか、メモリカードの内容を確認してください。





メモリカード内を検索して選択した種別のファイルをサムネイルやアイコンで一覧表示します。
「右」「左」「上」「下」ボタンでファイルを選び、「OK」で選択できます。

【詳細のページ】
- 写真を見る　→「15.写真を見る、編集する」へ
- 楽曲を再生する　→「16.楽曲/音声を再生する」へ
- 動画を再生する　→「17.動画を再生する」へ

15 写真を見る、編集する

リモコンの「PHOTO」ボタンを押したり、「ファイル種別選択」画面で「PHOTO」を選択すると、メモリカード内の写真をサムネイル一覧表示します。ファイル名も表示しますが、長いファイル名の場合は「..」を表示して省略します。



「右」「左」「上」「下」ボタンを押して画像ファイルを選び、「OK」を押すとフル画面で表示します。

Point

- メモリカード内にあるデジタルフォトフレームが対応する画像ファイルをすべて一元表示します。フォルダ構造があってもフォルダは表示されません。
- 表示できる画像ファイル数は最大30,000ファイルまで。16階層のフォルダまで解析します。
- レイティング(評価)が設定されている写真は☆アイコンで明示します。



選択した写真をフル画面で表示します。

「右」ボタンで次の画像、「左」ボタンでひとつ前の画像ファイルを表示します。

■画像表示方法と範囲について

画面の表示方法には「標準」と「全画面」の2通りが用意されています。初期設定である「標準」の場合、液晶画面の「縦」幅に合わせて表示します。写真の縦横比率が液晶の比率と異なる場合は、画面の両脇に黒枠ができる場合があります。一方、「全画面」では液晶と画像の「横」幅を合わせ、画面いっぱいに写真の一部が拡大して表示されます(ワイド写真以外の場合でも黒枠は表示されません)。



「標準」表示



「全画面」表示

縦写真の場合は更に違いは顕著です。



縦写真の「標準」表示



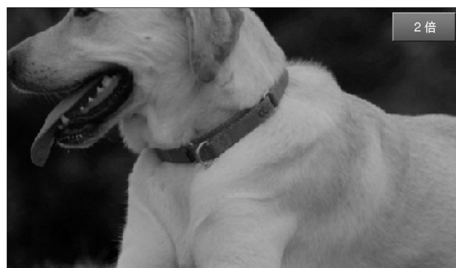
縦写真の「全画面」表示

Point

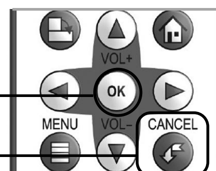
表示方法を切り替える操作は「21.各種設定」の「画像表示方法」(P.37)を参照してください。

■画像の拡大

「OK」ボタンを一回押すと画像が「2倍」に拡大して表示されます。画面右上に「2倍」と表示されます。「OK」ボタンを押すごとに拡大し、最大「8倍」まで拡大表示できます。

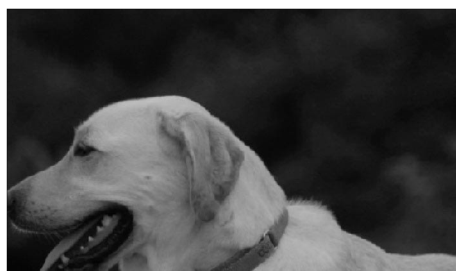


拡大したら倍率が表示されます。



更に「OK」ボタンを押すと4倍に拡大します。

「CANCEL」ボタンを押すと倍率が下がります。



「右」「左」「上」「下」ボタンを押して、表示している位置をスクロールすることができます。



■画像の情報表示

「MENU」ボタンを押すと、操作メニューが表示します。「情報表示」を選択すると、画像の情報(プロパティ)を表示することができます。



操作メニューが表示します。
「情報表示」を選択した状態でリモコンの「OK」ボタンを押します。



「撮影情報」の対話が表示されます。「ON」を選択してリモコンの「OK」ボタンを押すと情報表示モードになります。



画像のプロパティ(EXIF情報など)が画面に表示されます。

「右」ボタンで次の写真、「左」ボタンで前の写真を、情報表示モードで表示します。

同じ操作で「OFF」に切り替えるまで画像情報は画面表示します。

■画像のコピー

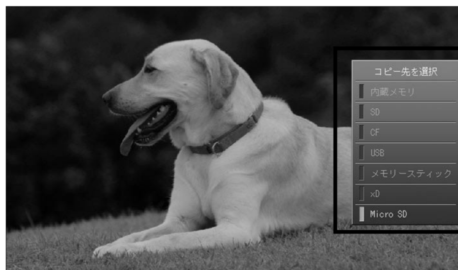
表示中の画像を別のメモリカードにコピーすることができます。



リモコンの「COPY」ボタンを押します。

または「MENU」ボタンを押してメニューを表示し、「コピー」を選択して「OK」ボタンを押します。

「MENU」ボタンを押し、操作メニューから「コピー」を選択します(「下」、「OK」ボタン)。



コピー先のメモリカードを選択します。
本体にセットされているメモリカードのみ明るく表示され選択できます。

コピー先のメモリカードを選択して「OK」ボタンを押します。

「OK」ボタンを押すと画像ファイルをメモリカードにコピーし、「完了しました」と画面表示が出ます。

■画像の削除

表示中の画像を削除することができます。



リモコンの「DELETE」ボタンを押します。

または「MENU」ボタンを押してメニューを表示し、「削除」を選択して「OK」ボタンを押します。

「MENU」ボタンを押し、操作メニューから「コピー」を選択します(「下」、「OK」ボタン)。



「削除しますか」の対話に「はい」を選択して「OK」ボタンを押すと画像を削除します。
削除した画像は復旧できません。誤って大切な画像を削除しないように注意してください。

「いいえ」を選択して「OK」ボタンを押すと画像の削除操作をキャンセルします。

■画像の回転表示

画像を回転して表示することができます。回転はその時点の表示のみに対して有効で、次の写真を表示したり、サムネイル一覧表示に変えると回転は解除されます。なお、回転は表示だけで、実際の画像データを回転して保存はしません。



回転したい画像をフル画面表示します。

リモコンの「ROTATE」ボタンを押します。



「ROTATE」ボタンを押すと画像が９０度右回転します。



またはメニューからも指定できます。

「MENU」ボタンを押すと操作メニューが表示しますので、
「回転」を選択して「OK」ボタンを押します。



「右回転」か「左回転」かを指定して、リモコンの「OK」ボタンを押します。

■画像のレイティング変更

レイティングとは「評価」のことです。標準ではすべての写真が「なし」に設定されています。
JPEG画像の場合、1～5段階で評価を付けることができます。評価は「☆」マークで表します。



「MENU」ボタンを押して操作メニューを表示し、
「レイティング変更」を選択して「OK」ボタンを押します。



評価点を選びます。
「上」「下」ボタンを押し、「☆」マークの数でレイティングを設定・変更します。「OK」ボタンで決定です。

※レイティングできる画像はJPEGのみです。
　RAWやその他のファイル形式はレイティングできません。





レイティングを付けた画像は、サムネイル一覧表示でレイティングを示すアイコンが表示されます。

■レイティング写真の絞り込み表示



サムネイル一覧表示では、指定したレイティングの写真だけを絞り込んで表示することができます。

サムネイル一覧表示で「MENU」ボタンを押します。
画面右に表示されたメニューから「レイティング画像表示」を選択して「OK」ボタンを押します。



絞り込み表示したい☆の数を選び、「OK」ボタンを押します。



指定したレイティングの写真のみ、一覧表示されます。

※レイティングできる画像はJPEGのみです。
　RAWやその他のファイル形式はレイティングできません。



絞り込み表示中に「SLIDE」ボタンを押すと、絞り込んだ写真だけでスライドショー再生ができます。

16 楽曲/音声を再生する

リモコンの「MUSIC」ボタンを押したり、「ファイル種別選択」画面メニューで「MUSIC」を選択すると、メモリカード内の楽曲(音声ファイル)をアイコン一覧表示します。ファイル名も表示しますが、長いファイル名の場合は「..」を表示して省略します。



「ファイル種別選択」画面メニューで「MUSIC」を選択して「OK」ボタンを押します。



楽曲(音声)ファイルのアイコン一覧表示から、ひとつを選択して再生することができます。

「右」「左」「上」「下」ボタンを押して再生したい楽曲ファイルを選び、「OK」で選択します。



楽曲ファイルの情報(曲名、アーティスト、アルバム名称)が画面表示され、楽曲が再生されます。再生位置はタイムラインで表示されます。



【音声再生中のボタン操作】

- 「上」　音量を上げます。
- 「下」　音量を下げます。
- 「右」　早送りする
一回押すと2倍、以降4倍、8倍速になります。
- 「左」　戻る
一回押すと2倍、以降4倍、8倍速で巻き戻しになります。

※早送り/巻き戻しは指定した倍速に相当する分をスキップ再生します。

- 「OK」　一時停止　再生を一時停止します。
一時停止中に「右」ボタンを押すと1秒進め、
「左」ボタンを押すと1秒戻すことができます。
- 「MUTE」消音します。
- 「COPY」ボタンで再生中の楽曲ファイルをコピーすることができます。

■リピート再生、ランダム再生



楽曲を再生中に「MENU」ボタンを押すと「再生モード」が選択できます。再生モード選択では、「リピート再生」と「ランダム再生」の設定ができます。

リピート再生
繰り返し再生の設定です。
「全曲リピート」はサムネイル一覧表示のリストの順に再生します。すべての曲の再生が終わったら、最初の曲から再度再生します。
「1曲リピート」は再生中の曲を繰り返し再生します。
「しない」を選択した場合、全曲再生した後、再生を終了します。

ランダム再生
ランダム再生を選択すると、サムネイル一覧表示のリストの順ではなく、ランダムに楽曲が再生されます。

17 動画を見る

リモコンの「MOVIE」ボタンを押したり、「ファイル種別選択」画面メニューで「MOVIE」を選択すると、メモリカード内の動画ファイルをサムネイル一覧表示します。ファイル名も表示しますが、長いファイル名の場合は「..」を表示して省略します。



「ファイル種別選択」画面メニューで「MOVIE」を選択して「OK」ボタンを押します。



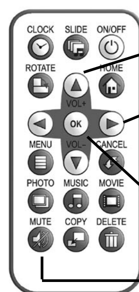
動画ファイルのサムネイル一覧表示から、ひとつを選択して再生することができます。

「右」「左」「上」「下」ボタンを押して再生したい楽曲ファイルを選び、「OK」で選択します。



動画が再生されます。

「OK」ボタンで一時停止、「右」ボタンで早送り等ができます。
「CANCEL」で再生を中止し、サムネイル表示一覧に戻ります。



【動画再生中のボタン操作】

・「上」　音量を上げます。(レベルゲージ表示はありません)
・「下」　音量を下げます。(レベルゲージ表示はありません)

・「右」　早送りする
一回押すと2倍、以降4倍、8倍速になります。
・「左」　戻る
一回押すと2倍、以降4倍、8倍速で巻き戻しになります。

※早送り/巻き戻しは指定した倍速に相当する分をスキップ再生します。

・「OK」　一時停止　再生を一時停止します。
一時停止中に「右」ボタンを押すと1秒進め、
「左」ボタンを押すと1秒戻すことができます。
・「MUTE」 消音します。

18 複数のファイルをコピー・削除する

サムネイル一覧表示のとき、複数のファイルを指定してメモリカード間でコピーしたり、
メモリカードから削除することができます。



サムネイル一覧表示でリモコンの「MENU」ボタンを押し、「コピー」または「削除」を選択します。

※リモコンの「COPY」または「DELETE」ボタンを押すと、サムネイルを選択中の画像だけを対象に、コピーまたは削除が実行できます。



コピー、または削除する対象を指定します。

選択されたファイル
　サムネイルを選択中のファイルのみコピー、
　または削除したいとき
複数選択
　次の画面でコピー、または削除したいすべての
　ファイルを選択し、一度に削除したいとき
すべて
　サムネイル一覧表示しているすべてのファイルを
　コピー、または削除したいとき



「複数選択」を選んだときは、削除またはコピーしたいすべてのファイルを、「OK」ボタンを押して選択します。選択が完了したら「MENU」ボタンを押します。

「右」「左」ボタンを押し、「OK」ボタンで選択します。例では一行目5つの画像をそれぞれ選択して「OK」を押しました。



「コピー」を選択した場合、コピー先のメモリカードを選択して「OK」ボタンを押します。本体に装着していないメモリカードや認識できないメモリカードは選択できません。

Point

・画像や音楽、映像など、ファイルのコピーや削除を行う場合はデータの破損を防ぐために、乾電池ではなくACアダプターを接続の上、使用してください。



「削除」を選択した場合、削除を再確認する対話に応えます。
「はい」を選択して「OK」ボタンを押すと画像が削除されます。
「いいえ」を選択した場合、キャンセルします。

Point

・削除したファイルは本機の機能や弊社サポートセンターでは復旧できません。誤って大切なファイルを削除しないよう十分にご注意ください。
・コピーや削除中はメモリカードの抜き差しを絶対にしないでください。

19 一覧表示を並べ替える

サムネイル一覧表示の表示順を変更することができます。
次の項目でファイルを並び替えることができます。

・**名前**
　ファイル名を五十音順(昇順)に並び替えて表示します。
・**更新時間**
　保存日または更新日が古い順に並び替えて一覧表示します。
・**撮影日時**
　画像ファイル内に書き込まれている「撮影日」が古い順に一覧表示します。
　「撮影日」の情報がない場合は、一覧の最後に表示します。
※「MUSIC」「MOVIE」の場合は撮影日時の並べ替えはありません。



サムネイル一覧表示でリモコン、または本体操作パネルの「MENU」ボタンを押すと、画面右に操作メニューが表示しますので、「▽」(下)ボタンを押して「並べ替え」を選択し、「OK」ボタンを押します。



並べ替えしたい項目を「名前」「更新時間」「撮影日時」から選んで「OK」ボタンを押します。

20 アラーム、自動起動/OFF

指定した時刻にアラーム音を鳴らしてめざまし時計のように使用したり、指定したBGMを再生するお知らせアラームとして使用できます。
また、アラーム時刻に開始時刻と終了時刻を指定でき、自動電源ON/OFFと連動させることもできますので、例えば9時から17時までの時間のみ、スライドショーを再生させ、終了時間に自動で電源をOFFする設定もできます。



ホーム画面で「設定」を選び「OK」を押します。



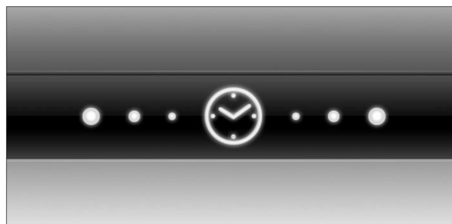
「アラーム設定」を選択します。

■めざまし時計のようにアラームを指定した例



アラームを鳴らす開始時刻と終了時刻を指定します。

アラームの音量を指定します。



アラームが鳴っているとき、めざまし時計のイラストを画面表示します。
(画像「なし」を指定した場合)



鳴っているアラームを止めるには、リモコンや本体操作パネルの任意のボタンを押します。ボタンを押すと終了時間前でもアラームを止めることができます。

■開始時刻に起動してスライドショー再生の例



開始と終了
スライドショー再生する開始時刻と終了時刻を指定します。
アラーム
一回きりのアラームの場合は「リピート」を「OFF」、毎日アラーム動作させたい場合は「ON」にします。
画像
スライドショーで使用する写真を指定します。
(「OK」ボタンを押す)



指定する方法は読み込むメモリカード(デバイス)を選択する方法と、写真立てのように「1ファイルのみ」表示する方法があります。
デバイスを選択
メモリカードを選択します。指定したメモリカードでスライドショー再生を行います。
1ファイルのみ
をメモリカードを選択した後、サムネイル一覧表示から画像をひとつ選択します。
なし
画像は指定しない代わりに、めざまし時計のイラストを画面表示します。



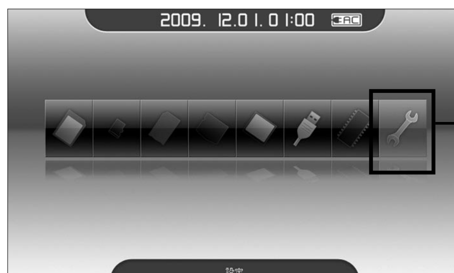
BGM
アラーム時に楽曲(BGM)を再生したい場合、画像と同様に指定します。「なし」を選択している場合、本体に標準の「目覚まし時計風のアラーム音」が鳴ります。
動画
アラーム時に動画を再生したい場合、画像と同様に指定します。
アラーム音量
アラーム音やBGM、ビデオの音量を調節できます。好みに合わせて調整してください。
自動電源ON/OFF
自動電源ON/OFF 開始時間前に電源をONし、終了時間後に本体の電源OFFする機能です。「設定」で「OK」ボタンを押して設定します。
決定
設定の内容を決定して保存します。



自動電源　ON/OFFの「設定」ボタンを押すと表示します。
「する」を選択すると、アラーム開始時刻に本体の電源が自動でONになり、アラーム終了時刻に自動で電源OFFになります。

21 各種設定

「設定」画面で、デジタルフォトフレームの設定を変更することができます。



各種設定は「設定メニュー」画面から行います。
「設定メニュー」を表示するにはホーム画面で「設定」を選択します。

「右」「左」ボタンで「設定」を選び、「OK」ボタンを押します。



「設定メニュー」画面が表示します。
「上」「下」「左」「右」ボタンで設定変更したい項目を選び「OK」ボタンで各種設定画面を表示します。

各種設定画面の基本操作としては「左」「右」ボタンで項目を選択して「OK」で変更を決定します。複数の項目がある場合は「上」「下」ボタンで項目を変更できます。次の項目が設定できます。

■液晶の明るさ



液晶画面の明るさを変更します。
右が最も明るく、左が暗い設定となります。

本体の操作パネルか、リモコンの「右」ボタンを押すと明るくなります。
「左」ボタンで暗くなります。

■スライドショー



スライドショーの切替時間や切替時の特殊効果、画像再生の順序、BGMの有無などを設定します。

本書では「11.スライドショー」の項目で解説していますので、参照してください。

■音



本機のボタン操作をする際に、入力を音で知らせる機能があります。

ボタン操作音の有無を選択したり、音声レベルを指定します。

■自動電源OFF



本機はボタン操作がなかったときに自動的に電源OFFすることができます。特に乾電池で使用しているときは、バッテリーの消耗を防ぐのに便利です。

自動電源OFFの時間は1分〜10分まで選択でき、ACアダプタで電源をとっているとき、自動電源OFFを無効にすることもできます。

■画像表示方法



画面の表示方法には「標準」と「全画面」の2通りが用意されています。

詳しくは「15.写真を見る、編集する」を参照してください。

■内蔵メモリ管理



本体の内蔵メモリの容量(全容量/使用領域/空き領域)を確認したり、フォーマット(初期化)することができます。

フォーマットすると内蔵メモリに保存した画像ファイル等はすべて消去されます。復旧はできませんので誤って操作しないようにご注意ください。



「容量確認」を選択したときの画面です。

内蔵メモリの使用中の領域(容量MB)と、空き領域を確認することができます。

なお、フォーマットしてもファイルシステムの管理上、使用中の領域は0になりません。

■メモリカード管理



本体にセットしたメモリカードを選択し、その容量(全容量/使用領域/空き領域)を確認したり、フォーマット(初期化)することができます。

「上」「下」ボタンを押してメモリカードを選択し、「OK」ボタンを押します。
本体にセットしていない、または認識していないメモリカードは選択できません。



「容量確認」か「フォーマット」か、
メモリカードに実行したい作業を「上」「下」ボタンで選択し、「OK」ボタンを押します。

フォーマットとは、初期化とも呼ばれ、メモリカードに保存した画像ファイル等をすべて消去し、クリアな状態にすることです。消去されたファイルは復旧できませんので誤って操作しないようにご注意ください。



「容量確認」を選択したときの画面です。

メモリカードの使用中の領域(容量MB)と、空き領域、理論的な全容量を確認することができます。



「フォーマット」を選択したときの画面です。

メモリカードをフォーマットするかどうかの確認画面です。
「はい」を選択して「OK」を押すと、メモリカードの内容が全消去されます。
「いいえ」か「CANCEL」ボタンでキャンセルできます。

なお、フォーマットしてもファイルシステムの管理上、使用中の領域は0になりません。

■Language・言語



画面対話の言語を、「日本語」または「英語(English)」から選択します。

言語に「英語」を選択しても、日本語のファイル名は正常に表示することができます。

■画像コピー設定



メモリーカードから本機の内蔵メモリへ画像をコピーする際、同じ画像サイズでコピーする方法に加えて、JPEG画像に限っては画像サイズを固定の「アルバムサイズ」(長い辺が800ピクセル)にリサイズしてコピーする方法が選択できます。

Point

メモリーカード間のコピーや、内蔵メモリからカードへのコピーを行う場合、この画面で「アルバムサイズ」に設定していても、画像は「原画サイズ」のままコピーされます。
また、RAWなどJPEG以外の画像形式の場合は、「アルバムサイズ」のコピーはできません。

■時計・カレンダー設定



時計カレンダー表示のときの時計のタイプ(アナログ/デジタル)、写真表示やBGMの有無やその設定を行います。

時計のタイプやBGM等についての詳細は「12.時計・カレンダー表示」の項を参照してください。

■日時設定



本体内蔵時計の、時刻や日付を合わせます。

リモコンまたは本体上部の上下キー(▽か△)を押して「年」の数値を変更します。「△」(上)で数値が増え、「▽」(下)で数値が減ります)。
右キーを押すと次の欄の設定に移動します。

「9.デジタルフォトフレームの電源を入れる」の項で、設定方法を詳しく紹介しています。

■アラーム設定



指定した時刻にアラーム音を鳴らしたり、スライドショーやBGM、動画を再生してお知らせアラーム機能として使用できます。

詳しくは「20.アラーム、自動起動/OFF」を参照してください。

■初期設定



本体の設定を製品出荷時の初期設定状態に戻します。
内蔵メモリやメモリカードの内容は消去しません。

「初期設定に戻します」の対話に「はい」を選択すると初期状態に戻ります。

■製品情報

本製品の名称と(ファームウェアの)バージョン番号を表示します。

この製品に使用されているソフトウェアのライセンス契約情報

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成されています。本機のソフトウェアモジュールのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法その他の関連する法律によって保護されています。また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンスの契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのソフトウェアモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあり、GPLおよびLGPLも同様の条件を定めています。本機に含まれるフリーソフトウェアはこれらのライセンスに基づきソースコードを配布しています。当該フリーソフトウェアの複製、改変、頒布を希望される方は、飛鳥製品サポートセンターにお問い合わせください。ソースコードの開示期間は、本製品の販売終了後5年間とさせていただきます。なお、フリーソフトウェアの内容等についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。また当社が所有権を持つソフトウェアモジュールについては、ソースコードの提供対象ではありません。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件などの詳細については、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください（当社以外の第三者による規定であるため原文を掲載いたします）。
当該モジュールについては現状のままの提供であり、適用法令の範囲内で一切保障をしないものとします（明示するもの、しないものを問いません）。また当社は、当該ソフトウェアモジュールおよびその使用に関して生じたいかなる損害についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

本機には以下のフリーソフトウェアモジュールが組み込まれています。

対応ソフトウェアモジュール	
u-boot linux busy-box dosfstools exif freetype mtd-utils udev bslsh readline	**Exhibit A**
DirectFB SDL libexif taglib gcc glibc sysfstools libusb	**Exhibit B**
ffmpeg	**Exhibit A / Exhibit B**
ipafonts	**Exhibit C**
jpeg-6b	**Exhibit D**
ncurses	**Exhibit E**

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do

not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.
However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6.
Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted,

and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU
FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

一般利用者向けIPAフォント使用許諾契約書（エンド・ユーザ・ライセンス）

独立行政法人情報処理推進機構（以下、「IPA」といいます。）は、「IPAフォント」と題するデジタル・フォント・プログラム（以下、「許諾プログラム」といいます。）を提供するにあたり、この使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）に同意いただくことを条件とします。
許諾プログラムの提供を受けた者（IPAからの一次配布・他の利用者からの再配布を問わず、以下、「受領者」といいます。）が、受領した許諾プログラムをコンピュータ（１条に定義する
ところによります。）にインストールした場合、本契約の内容に同意したものと見なします。

第1条　用語の定義
本契約において、次の各号に掲げる用語は、当該各号に定めるところによります。
1.「派生プログラム」とは、許諾プログラムの一部または全部に、変更、デザインの加工その他の加除修正等を施したもの、フォント名などのフォント情報や組版に関する情報を含む一連のテーブルなどを変えたもの、またはフォントのアウトラインデータやビットマップデータの一部または全部を追加、修正、削除したものなどをいいます。
2.「独自プログラム」とは、許諾プログラムの一部または全部をプログラムのまま利用せず、許諾プログラムの一部または全部から文字情報を取り出し、または取り出された文字情報に改変等をなして新たに制作されたデジタル・フォント・プログラムその他の二次的成果物をいいます。
3.「デジタル・コンテンツ」とは、デジタル・データ形式によってエンド・ユーザーに提供される制作物のことをいい、映像コンテンツ（動画・静止画等の映像制作物および番組）および文字テキスト、画像、図形等を含んで構成された制作物を含みます。
4.「デジタル・ドキュメント・ファイル」とは、PDFファイルその他、各種ソフトウェアによって
制作されたデジタル・コンテンツであって、当該ドキュメント・ファイルに使用されている文字について許諾プログラムの一部が埋め込まれた（エンベッドされた）ものをいいます。
5.許諾プログラムの「変更」とは、フォントの骨格を変えることをいい、漢字の偏や旁を切り離して新たな文字（外字）を作成すること、文字の一部を変形して新たな文字を作成することなどを含みます。
6.「デザインの加工」とは、フォントの骨格を変えることなく、フォントに対して表示効果を付加することや一定の変形を加えることをいい、アプリケーション・ソフトウェアにおける文字飾り（太字、斜体、影付け、下線、中抜き、浮き彫りその他）や、文字変形などを含みます。
7.「コンピュータ」とは、本契約においては、サーバを含みます。
8.「複製その他の利用」とは、複製、譲渡、頒布、貸与、公衆送信、上映をいいます。

第２条 使用許諾の付与
IPAは受領者に対し、本契約の条項に従い、すべての国で、許諾プログラムを使用することを許諾します。ただし、許諾プログラムに存在する一切の権利はすべてIPAが保有しています。
本契約は、いかなる意味においても、IPAが保有する許諾プログラムに関する一切の権利および、いかなる商標、商号、もしくはサービス・マークに関する権利をも受領者に移転するものではありません。
1.受領者は本契約に定める条件に従い、許諾プログラムを記憶媒体にインストールし、コンピュータで使用することができます。
2.受領者はコンピュータにインストールされた許諾プログラムをそのまま、印刷物およびデジタル・コンテンツにおいて、文字テキスト表現等として使用することができます。
3.受領者はコンピュータにインストールされた許諾プログラムに対して、他の編集ソフトウェア・プログラム等を利用してデザインの加工および変更を行ったうえで、これを印刷物およびデジタル・コンテンツにおいて、文字テキスト表現等として使用することができます。
4.受領者は本条2項または3項の定めに従い作成した印刷物およびデジタル・コンテンツにつき、その商用・非商用の別、および放送、通信、各種記録メディアなどの媒体の形式を問わず、複製その他の利用をすることができます。
5.受領者は、デジタル・コンテンツにおいて使用した文字（サブセット文字）に限り、本契約において許諾されている範囲内で埋め込んで（エンベットして）デジタル・ドキュメント・ファイルとし、かかるデジタル・ドキュメント・ファイルの複製その他の利用をすることができます。この場合には、かかるデジタル・ドキュメント・ファイルの受領者に対しては、本契約に従うことを求める必要はありません。
6.受領者は、許諾プログラムをそのままの状態で、「IPAフォント」の名称で、変更、デザインの加工その他の改変を加えることなく、商用・非商用を問わず第三者への再配布をすることができます。ただし、その場合には、受領者は、本契約の写しを許諾プログラムに添付して、第三者に再配布しなければなりません。
7.受領者は、個人利用および研究用途として、派生プログラムまたは独自プログラムを作成することができます。

第３条　制限
前条により付与された使用許諾は、以下の制限に服します。
1.受領者は、商用・非商用を問わず、派生プログラムまたは独自プログラムをIPAの許諾無しに再配布することはできません。
2.受領者がIPAフォントを前条6項に基づき再配布する場合には、受領者は「IPAフォント」という名称を変更することはできません。
3.受領者が作成した派生プログラムまたは独自プログラムについて、IPAは一切の責任を負いません。
4.許諾プログラム、派生プログラムまたは独自プログラムについて、IPAは一切の保証を行わず、許諾プログラム、派生プログラムまたは独自プログラムのインストール、使用、複製その他の利用によって受領者に生じた一切の損害（システム障害・通信障害・既存のデータやプログラム等の紛失・破損により生じる損害、その修復コスト、逸失利益、これらのプログラム利用にかかる第三者の権利侵害に対するクレーム・損害・責任、その他の財産上の損害（特別損害・間接損害・拡大損害等を含む。）および精神的損害等）について、IPAは一切の責任を負いません。
5.許諾プログラム、派生プログラムまたは独自プログラムのインストール、使用、複製その他の利用に関して、IPAは技術的な質問や問い合わせ等に対する対応その他、いかなるユーザ・サポートも行いません。

第４条　契約の終了
1.本契約の有効期間は、受領者が許諾プログラムを受領した時から、受領者が許諾プログラムを全てのコンピュータからアンインストールするまでとします。
2.前項の定めにかかわらず、受領者が本契約に定める各条項に違反したときは、本契約は、何らの催告を要することなく、自動的に終了し、受領者はそれ以後、許諾プログラム、派生プログラムおよび独自プログラムを一切使用しまたは複製その他の利用をすることができないものとします。また、受領者は、本契約に定める各条項の違反によってIPAが被った損害を賠償する義務を負うものとします。

第５条　準拠法
1.本契約は、将来変更されることがあります。その場合には、受領者は、許諾プログラムの使用、複製その他の利用または再配布にあたり、本契約または変更後の契約のいずれかを選択することができます。
その他、上記に記載されていない条項に関しては著作権法および関連法規に従うものとします。
2.本契約は、日本法に基づき解釈されます。

Exhibit D

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Exhibit E

ご注意

・本書の内容は将来、予告なしに変更することがあります。
・本書に掲載のイラストや図、画面につきましては、当社製品の改良や他社製品の改良により、
実際と異なる場合がありますので予めご了承ください。
・当社では本製品や本ユーザーズマニュアルの仕様に起因する損失や過失利益等につきまして、
いかなる場合でも責任を負い兼ねます。予めご了承ください。
・本製品は日本語のみサポートしております。(We support Japanese only.)



保証書

保証書について

保証書は、故障時の修理を受けるときなどに必要になります。必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

製品型番	
ご氏名	フリガナ
ご住所	〒
電話番号	（　　　　）
ご購入店名	
お買い上げ日	年　　月　　日より　1　年間保証

※ 保証書は必要事項をご記入の上、大切に保管してください。
※ 故障などで修理が必要になった場合は、製品に保証書のコピーを同封して、飛鳥製品サポートセンターまでお送りください。

デジタルフォトフレーム EYE-POPPER 取扱説明書

2010年2月 第一版発行



株式会社ケンコー　ASKA事業推進部

〒161-8570　東京都新宿区西落合3-9-19

飛鳥製品サポートセンター

電話受付時間：10時～12時、13時～17時　(土日・祝日を除く)

TEL:0570-007-304

ナビダイアルをご利用できない場合　TEL:03-5988-9304

ホームページ　http://www.aska-japan.net/